



ROTARY INTERNATIONAL

ガバナー月信

1988年12月20日

No. 7

# Governor's Monthly Letter

ロータリーに  
活力を  
あなたの  
活力を



国際ロータリー第276地区 DISTRICT 276  
 ガバナー 高 沢 隆 Governor Takashi TAKAZAWA  
 〒440 豊橋市花田町石塚42-1 42-1, ISHIZUKA, HANADACHO  
 豊橋商工会議所内 TOYOHASHI, JAPAN PC 440  
 PHONE 0532-55-8222 PHONE 0532-55-8222  
 FAX 0532-53-6447 FAX 0532-53-6447

『ロータリー理解推進月間』——1月

## “ロータリー平和会議—ヒロシマ”開催



ロータリー平和会議本会議場

# ロータリー平和会議に出席して —— ガバナー 高沢 隆

11月7日、8日の2日間にわたり、広島市に於いて本年度第4回の「ロータリー平和会議」が開催されました。ロータリー平和会議と呼ばれるこのプログラムは、世界平和を真剣に考える目的でつくられました。この平和会議は非政治的なもので、平和達成のために個人やクラブが採ることの出来る大小様々な方法を明らかにすると同時に、我々の時代の重要な課題について対話の促進を図ることを目的とするものであります。この平和会議は、ロータリー財団の最も新しいプログラムで、アジアで行われる最初の会議が、平和の原点と云われる広島市で開催されたことは、誠に意義深いものがあると思われました。

会議には、ロイスアビーR.I.会長、カドマンロータリー財団委員長をはじめ、海外よりはアジア太平洋地域を中心に約100名、国内より約500名の参加があり、ロータリアンの平和に対する真剣な討議のうちに有意義に2日間を終了することが出来ました。

第1日の開会式に於いてロイス・アビーR.I.会長は次の様に挨拶をされております。

広島で開催されるこの平和会議は、第4回目のものですがアジアでは初めての会議となります。今日までに3つの平和会議が開催されました。1988年2月29日第1回の会議がアメリカのエバンストンで開催され、「非政府組織はいかに平和に貢献できるか」で話し合われました。第2回はコスタリカのサン・ホセで開かれ、テーマは「中米における平和と夢」でした。第3回は9月24日フランスのニースで開催され、テーマは「地中海地域の摩擦について」でありま



フィリピンD.381ガバナーと高沢ガバナー

す。今回の広島での会議のテーマは「ヒロシマの心を世界へ」であります。平和はすべてのロータリアンの支持するものであり、「ヒロシマの心」を全世界の人々に理解して頂き度いと思います。

第2日に、「太平洋時代とロータリアンの平和への貢献」をテーマとして3時間半にわたって熱心な討議が行われました。モデレーターは千宗室R.I.理事、パネリストとして基調講演をされたのは、荒木武広島市長、岩村昇R.I.国際理解平和賞受賞者、呉在環元R.I.理事、R.スチュアート平和会議諮問委員、S.サントスR.I.理事イレクトであります。その中で韓国人として第二次大戦を経験した呉在環元R.I.理事のスピーチの1節を紹介致しておきます。

1つの原子爆弾が、広島全域の92%に被害を与え20万人の死傷者を出しました。その中には私達の同族朝鮮人が7万人も居たとのことでした。強制徴用と徴兵で連れられて来た彼等でした。憲兵警察に依る統治36年の間の私達朝鮮人は悲惨そのものでした。名前も奪われ、言葉も失った私達でした。1つの民族が、他民族の支配の下に生きる責めの半分は自らにあると考える私ですが、本当に慘めなものでした。私はその慘めな時代に生まれ、そして26年間その下で育ったのでした。広島長崎証人の会で或る主婦は云いました。強制的に連れて来られ被害を受けた朝鮮人達は、原子被爆よりも日本をもっとうらんで居るのではないかと。

原爆の地広島に来て、私達ロータリアンが世界平和の為に何が出来るか、又何を行うべきか。考えさせられるものが多かったフォーラムであったと思います。



平和記念公園「原爆の子の像」へ折鶴を献上するロイス・アビーR.I.会長



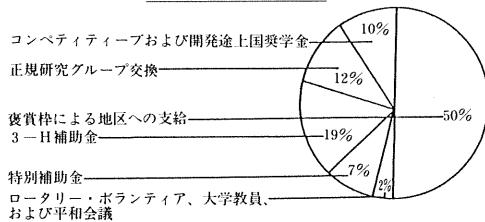
## R.I.財団管理委員会、 褒賞枠1,350口の授与を決定

1988年5月の会合にて、R.I.財団管理委員会は、1,350口の褒賞枠を支給する目標を定めました。

褒賞枠とは財団の奨学金が全世界のロータリー・クラブにあまねく配布されるようにするための手段です。全体で、財団補助金および奨学金の約半額が褒賞枠を通じて授与されています。

各ロータリー地区は、1988-89年度を通じ財団に対し米貨23,000ドルの無条件寄付を行なう毎に、1口の1991-92年度褒賞枠（1991-92年度奨学金あるいは同年度の他の補助金に使用出来るもの）を授与されます。この様にして、地区は、その無条件寄付額が米貨46,000ドルに達した際、第2口目の褒賞枠を獲得し、それ以後も同様に、米貨23,000ドルの無条件寄付を行なわれるごとに追加褒賞枠を獲得します。一方寄付額が最初の米貨23,000ドルに達しなかった地区にも、ロータリー世界の全地域がロータリー財団のプログラムに参加するべきであるとの財団の信念を現わすものとして、この金額を寄付したものとして、1口の褒賞枠が授与されます。

無条件寄付配分図



## 進行中のロータリー未加盟国との 第1回研究グループ交換

6名の専門職業人がソビエト連邦から、英国のハンプシャー（第114地区）を訪れ2週間滞在し

ました。これはロータリーの世界平和達成に向かう、着実な、しかし意義ある進歩を物語るものとして、ソビエト連邦との初めての研究グループ交換です。政府の指導者に引率されるソ連チームは弁護士、眼科医、生物有機物科学者、コンピューター・プログラマー、国際経済研究者により構成されていました。代わって1989年には、第114地区的チームがソ連を訪問します。また、現在、オーストラリアの第971地区からのGSEチームは既にポーランドに到着し、ワルシャワ、ガダンスク、カラコウなどを含む4週間の訪問旅行をしました。

## ドナルド・W・ファグソン奨学金が 設置されました

Rust-Oleum Corporationの元社長兼会長で米国イリノイ州エバンストン・ロータリー・クラブの会長および財団委員長を務められたドナルド・W・ファグソン氏の追悼記念奨学基金を設置するため、米貨15万ドルがロータリー財団に寄付されました。ご寄付下されたのは、同氏の末亡人マジョリー夫人とその子供のジーン・ペットリーさんとドン・ファグソン氏です。

ドナルド・W・ファグソン奨学金は、一年置きに、専攻分野に関わりなく、第644地区が選んだ候補者に支給されますが、実業に関連する分野の学生あるいは障害者の教師に優先権が与えられており、管理委員会により指定された世界の場所で研究に従事することになっています。また他の一年置きには、奨学金はスコットランドの3地区の1つから選出された候補者に支給され、イリノイ、インディアナ、ミシガンあるいはウィスコンシン州で同様な専攻分野において研究に従事する機会が与えられます。

# R.I.日本支局だより

1989—1990年度

## 国際協議会の場所と日程が変更になりました

1989年4月8日から16日にかけて、メキシコのアカプルコで開催される予定でした国際協議会の開催場所と日程が次の様に変更になりました。

1.日 程：1989年4月12日～20日

2.場 所：アリゾナ州フェニックス

The Pointe South Mountain

## 「職業奉仕における新方針」に訂正箇所

「職業奉仕における新方針」(CD3-509-JA)を1月に出版しましたが、訂正箇所がありましたのでご連絡いたします。

1頁の「職業奉仕に関するR.I.の新しい方針」の項目内の『2)自己の職業のみならず、ロータリアンの携わるあらゆる有用な職業』という文章を『2)自己の職業またはロータリアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業』へと、ご訂正下さるようお願ひいたします。

## R.I.及びR.I.日本支局の書籍および定期刊行物案内(第3回)

### ●920-JA ロータリアン必携 (ROTARY BASIC LIBRARY)

新政訂版。経験豊かなクラブ指導者にも、新ロータリアンにも等しく役立つ豊富な情報が記載されている。クラブ会長必携の姉妹編としてクラブ会長に不可欠な資料。各巻約85ページの色刷りにて解説された、索引付き全7巻。総論では、歴史、哲学、実務手続、プログラムの概説などロータリーの全容に焦点が当てられている。四大奉仕部門、ロータリー財団、青少年のための諸活動にそれぞれ1巻充てられている。函入セットにても、各巻別でも入手できる。(EN, FI, FR, GE, IT, JA, PO, SP SW) 1987年に全面改訂版の第3版が刊行された。外函入り7巻は1セットに付き¥3,350

991-JA 第1巻 総論

(FOCUS ON ROTARY)

992-JA 第2巻 クラブ奉仕

(CLUB SERVICE)

993-JA 第3巻 職業奉仕

(VOCATIONAL SERVICE)

994-JA 第4巻 社会奉仕

(COMMUNITY SERVICE)

995-JA 第5巻 國際奉仕

(INTERNATIONAL SERVICE)

996-JA 第6巻 青少年のための諸活動

(YOUTH ACTIVITIES)

997-JA 第7巻 ロータリー財団

(THE ROTARY FOUNDATION)

各巻とも1巻に付き¥600

### ●922- EN MY ROAD TO ROTARY (ロータリーへの私の道)

ロータリーの創始者ポール・ハリスの生涯を物語る自叙伝。(ENのみ)

上製本、1部に付き\$ 9.25

### ●922A-EN MY ROAD TO ROTARY (ロータリーへの私の道) (ENのみ)

紙装丁、1部に付き\$ 7.00

### ●932-JA ロータリーへの私の道抄録 (SELECTIONS FROM MY ROAD TO ROTARY)

ロータリーへの私の道の抜粋、102頁(EN, JA, PO, SP)ペーパーバック、1部に付き¥600

### ●935-EN HORIZONS OF HOPE: ROTARY IN ACTION (希望の地平線: ロータリーの活躍)

最高レベルの写真集。アルゼンチンからジンバブエ(A~Z)まで世界中いたる所でロータリアンが行っている75の人道的プロジェクトにスポットを当て、ニュース・マガジン風の生き生きした文体でロータリーの活動を見事に描写している。ロータリアンの友人、ゲスト・スピーカー、新ロータリアン或はロータリアン候補者、財団奨学生、研究グループ交換チーム・メンバー、青少年交換学生へ贈るのに好適。(ENのみ)

限定版、1部に付き\$ 14.50

(完)

1987(昭和62)年度—自1987.7.1～至1988.6.30  
財)ロータリー米山記念奨学会、事業報告(3)

地区別奨学生数一覧表（1988学年度）

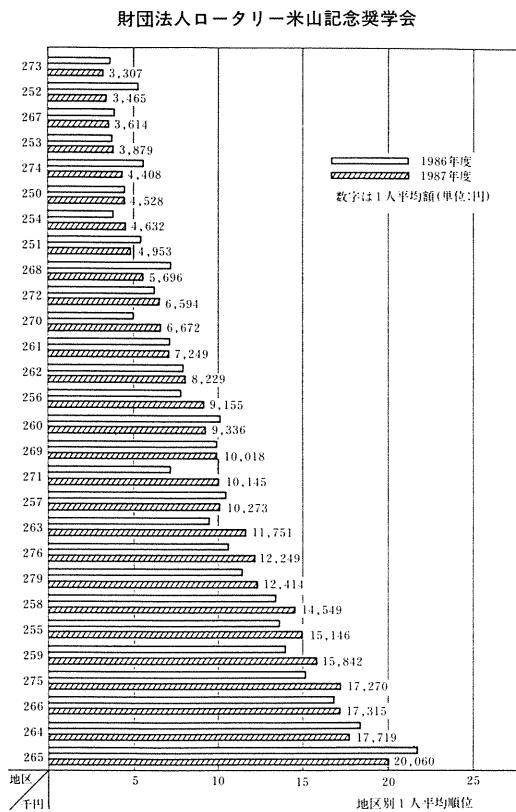
ブロック	地区	新規	継続	延長	CY	Dis Y	SYI	SYOB	計
1	250	0	0		1				0
	251	4*	5						10
2	252	7*	6						13
	253	3*	3						6
3	254	3*	3						6
	255	16*	13		2		8	2	41
4	256	7*	7						14
	257	5	3						8
5	277	10*	3						13
	258	27*	22	1	1			3	54
6	275	23*	13		2			2	40
	259	16*	15	1	2				34
7	279	12*	10	1					23
	260	6*	2						8
8	276	9*	13					1	23
	261	5*	2						7
9	262	4	6						10
	263	4	1		2				7
10	265	18*	16	1			1		36
	264	11*	9	1					21
11	266	14*	20						34
	268	5	9		1	1	2	1	19
12	267	3*	1						4
	269	5*	4						9
13	271	7*	5						12
	270	9*	13		1				23
14	274	6*	4						10
	272	4	4		1				9
15	273	3*	2						5
	計	246	214	5	10	4	10	10	499

男：346名、女：153名

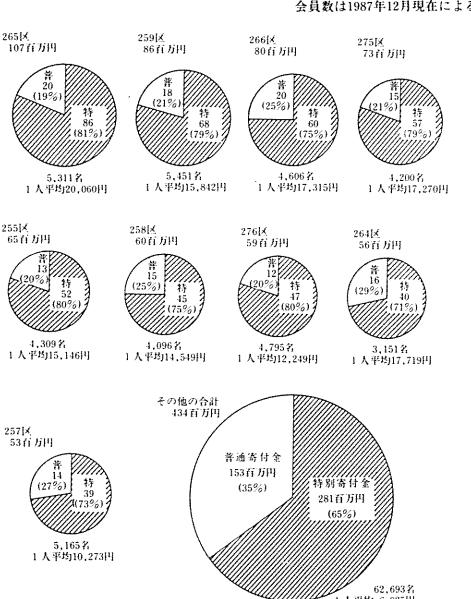
\*：地区奨学生1名分を正規奨学生に振り当てる地区

### 米山奨学生数国別一覧表

国・地域名		1988 学年数	過去累計 実数/通算		国・地域名		1988 学年度	過去累計 実数/通算	
ア	バングラデッシュ	4	32	55	アフガニスタン*	*	1	12	19
	ビルマ*	3	7	中	イラン	☆	11	27	
	香港	2	49	95	イラク		1	2	
	インド	6	32	62	イスラエル		4	5	
	インドネシア	5	51	89	トルコ		2	3	
	大韓民国	230	779	1,507	計		1	30	56
	ラオス*	2	4		アルゼンチン		3	5	8
	マレーシア	43	152	262	ボリビア		1	1	
	ネパール	1	11	16	ブラジル		5	33	51
	パキスタン	9	17	北	チリ		1	1	
シ	フィリピン	1	14	26	コロニアビア		1	1	
	ポルトガル(マカオ)	11	21	中	カナダ		1	2	3
	シンガポール	1	10	16	エルサルバドル		1	2	2
	スリランカ	5	34	71	グアテマラ		1	1	
	台湾	174	1,440	2,718	メキシコ		8	9	
	タイ	6	46	76	ペルー		1	8	14
	チベット	1	3	米	アメリカ合衆国		2	27	45
	ベトナム*	194	373		ベネズエラ		1	4	7
	計	478	2,870	5,418	計		14	93	143
	オーストラリア				オーストリア		1	1	
セ	斐ジー	1	1		ベルギー		2	2	
	オーストラリア	3	8		イギリス		1	4	6
	ニュージーランド	2	4	ヨ	フランス		1	5	9
	計	0	6	13	オランダ		1	2	
	コートジボワール	1	1	1	イタリア		1	7	10
	エジプト・アラブ共和国	10	19		スペイン		1	1	
	エチオピア	2	3	フ	スイス		2	3	
	ガーナ	2	4	バ	西ドイツ		1	4	6
	ケニア	1	2	6	計		4	27	40
	マダガスカル	1	2				499	3,048	5,710
カ	ナイジェリア	3	4		総 数				
	サイール	1	1		26か国				55か国
	計	2	22	40					



財団法人ロータリー米山記念奨学会  
1987(昭和62)年度 寄付金5千万円以上の地区



\*印の国は1979年1月31日までに、☆印の国は1983年1月31日までに入国した者を対象とする。

# 地 区 だ よ り

## 1988—1989年度 三河第2分区I.G.F.報告

分区代理 吉田五郎（豊田東R.C.）

ホストクラブ会長 鈴木教信（豊田東R.C.）

実行委員長 森 順次（豊田東R.C.）

1.日 時：昭和63年11月13日(日)

午後1時～午後6時

2.場 所：豊田産業文化センター

3.チラフ：豊田東ロータリークラブ

4.特別出席者

高沢 隆（ガバナー）

リーダー 吉田五郎（分区代理）

アドバイザー 加藤直一郎（パスト・ガバナー）

〃 田中 啓（パスト・ガバナー）



挨拶する吉田五郎分区代理

三河第2分区のI.G.F.は、高沢ガバナー初め、加藤直一郎パストガバナー、田中啓パストガバナー、神谷治次期分区代理をはじめ、分区内12クラブより245名の会員の出席を頂き盛大に開催されました。

本会のフォーラムのテーマ、社会奉仕部門で「河川浄化」国際奉仕部門で「国際交流」の2題を取り上げました。「河川浄化」については、当分区内の身近かな「矢作川流域の上・中・下流の現況」をスライドにて説明、私達のふるさとの川、矢作川の浄化運動の進展を上流部・豊田東R.C.、中流部・岡崎南R.C.、安城R.C.、下

流部一色R.C.より真剣に取り組む諸団体の浄化活動の紹介があり、流域の一住民として又、ロータリアンとして見直し、地域の奉仕にも広げよう！と意見発表をして頂きました。それらに対して、加藤直一郎アドバイザーよりご指導があり、R.I.テーマ“ロータリーに活力を、あなたの活力を”と認識を深めました。

「国際交流のあり方」基調講演を名古屋大学名誉教授・飯島宗一先生にお願いしました。国際交流は国家レベルのみならず、地域社会において重要な課題であってロータリアン一人一人が積極的に国際化の環境づくりと民間交流活動の担い手になるように講演があり、あたかも国際交流活動の友好親善を深める地域社会に「国際交流を考へる市民の会」がこの5月に豊田市国際交流協会が設立、同じ場所でI.G.F.が開催され、われわれロータリアンが如何に国際交流を受けとめるか？田中アドバイザーよりご示唆賜わり深く感銘を受けました。

最後に高沢ガバナーのご講評を頂きました。ホストとして豊田東R.C.が創立以来（9年目）、始めて企画運営を行いました。従来I.G.F.は午前と午後に渡り進行が多くもたれたが、今会は午後より開催し、来賓はじめ会員の多数のご協力を頂き懇親会まで途中退席もなく、有意義にI.G.F.が無事閉会されましたことを厚く御礼申し上げます。

## ソウル国際大会に参加を——

1989年5月21日(日)から24日(水)にかけて開催されるR.I.のソウル国際大会に、韓国の大会事務局より、日本として15,000名の参加要請がありました。

これをクラブ数で割りますと1クラブあたり9名となります。積極的参加をお願いします。

1988—1989年度  
西尾張分区I.G.F.報告

分区代理 加藤千博（尾西R.C.）

ホストクラブ会長 鈴木 洋（尾西R.C.）

実行委員長 伊藤 隆（尾西R.C.）

1.日 時：昭和63年11月19日(土)

午後1時30分～午後4時30分

2.場 所：一宮地場産業ファッショニ

デザインセンター

3.カラーチーム：尾西ロータリークラブ

4.特別出席者

高沢 隆（ガバナー）

リーダー 加藤千博（分区代理）

アドバイザー 奥谷博俊（パスト・ガバナー）



挨拶する高沢ガバナー

第276地区西尾分区I.G.F.は、来賓として高沢隆ガバナー、奥谷博俊パストガバナーをアドバイザーにお迎えし、分区内8クラブより217名の参加を得て、尾西R.C.山内登幹事の司会により鈴木洋会長の点鐘で開会されました。

国家「君が代」とロータリーソング「奉仕の理想」の斉唱に始まり、伊藤隆I.G.F.実行委員長の『一口に言って「ロータリーはどうあるべきか』の大テーマの下での勉強会である。』との開会宣言、鈴木洋会長の「歓迎の挨拶」など開会セレモニーに引き続きフォーラムへと進みました。

フォーラムは今年度R.I.会長テーマ「ロータリーに活力を——あなたの活力を」を踏まえて行われましたが、まず、加藤千博分区代理よりフォーラムの進め方について説明がありました。即ち「フォーラムは公開討論であるので、提出

されたテーマについてみんなで討論していただきたい。テーマはクラブ運営の根幹である“クラブ奉仕”を中心に提出していただきたい。対立意見や多くの異なる意見が出れば幸いである。質問の答え等は奥谷アドバイザーや高沢ガバナーにしていただきたい。』と。

続いて、それぞれ幹事経験者によって次の6提案がなされました。

○提案1：年末例会について

服部昌之助

○提案2：家族会の例会成立、不成立

後藤正敏

○提案3：マンネリ化している例会

市川達郎

○提案4：女性会員の入会

川出町久治

○提案5：ロータリーを半生の友として

小川雅也

○提案6：ロータリーとは、奉仕とは

横山忠一

提案者がいずれも幹事経験であったが故に内容がすばり核心に触れており、発表には迫力を感じられました。また、日頃から身近かな問題として話題にもなり関心も深いテーマが選ばれていた為に、意見交換も極めて活発に行なわれ、特に提案1については多数の意見が述べられ、相当の長時間を費して熱心に討論されました。他の提案についても、ロータリーの綱領である奉仕の理想を骨格とした高邁な意見が発表され、また、高沢ガバナー、奥谷アドバイザーからもそれぞれ適切なご指導があり、予定の時間を大きく越えても更に討論が続けられる有様でした。

おわりにガバナーより「身近かな問題から、最後は奉仕の問題について巾の広いフォーラムであった。ロータリーの奉仕は善意である。』との講評をいただき、丹羽康雄実行副委員長の「閉会のことば」で終了しました。時節柄懇親会は催されなかったが会員相互の親睦は十分に深められ有意義なI.G.F.でした。

1988—1989年度  
尾張第1分区I.G.F.報告

分区代理 吉田 守 (半田南R.C.)

ホストクラブ会長 鳥居桂三郎 (半田南R.C.)

実行委員長 清水 良三 (半田南R.C.)

1.日 時：昭和63年11月20日(日)

午前10時30分～午後3時40分

2.場 所：半田市住吉福祉文化会館

3.ホスト：半田南ロータリークラブ

4.特別出席者

高沢 隆 (ガバナー)

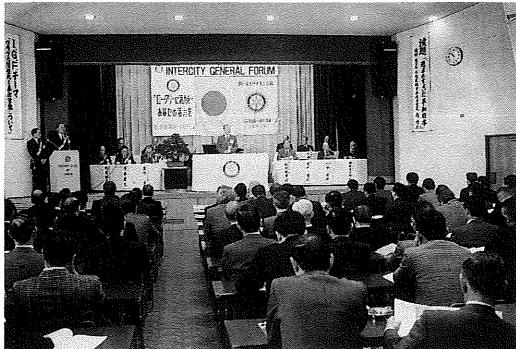
リーダー 吉田 守 (分区代理)

アドバイザー 川瀬 保 (パスト・ガバナー)

〃 加藤直一郎 (パスト・ガバナー)

〃 下郷弥太郎 (国際奉仕委員会委員長)

〃 山田 喬 (前分区代理)



挨拶する高沢ガバナー

☆1988—1989年度尾張第一分区のI.G.F.秋晴れの好天に恵まれ特別出席者の皆様始め尾張第1分区6クラブ会員総数325名中178名が出席し、開催されました。

☆午前10時30分吉田分区代理の開会点鐘によりセレモニー開始、高沢ガバナーのごあいさつ、半田市長山田耕市殿の歓迎の言葉があり、続いて午前11時10分より第276地区職業奉仕委員会の向博委員長を講師にお迎えして「恵まれすぎた平和日本」と題して約1時間10分経済大国日本の現状と米国が歩んだ道を分り易く説明され将来日本の進むべき方向についてもふれられ最後に職業奉仕について含蓄のある大変有益な講

演が行われました。

☆フォーラムは、午後1時10分開始、川瀬保パストガバナーよりI.G.F.のF.は議論することであり、結論を出す必要はない。結論は個々にだして自分の考えでやるべきだとの要旨の説明がありました。分区代理フォーラムの進めかたについて説明され、I.G.F.のテーマ「クラブの活性化と、奉仕活動について」各クラブより意見の発表が行われました。

☆半田R.C.の松本宏君からは、青少年の健全育成を最重要課題として特に家庭教育の重要性をアピールする「家庭教育講演会」を400名の参会者を集めて実施しました。更に、今後分区内の青少年奉仕委員長合同会議で具体的に検討したい旨の発言がありました。

☆常滑R.C.の小島郁良君からは、次の主旨の報告がありました。

(1)クラブの若返りを計るため、若い会員の加入につとめる。

(2)新入会員の教育が大切だからパスト会長10名を講師として炉辺会合を5～6回行いトレーニングする。

(3)今年最も活躍した会員を優秀会員として表彰する。

☆東海R.C.の加藤寿久君からは、活性化は全員で何かを行うことが大切だから今年は、次の4つの目標で行いますとの発言がありました。

(1)全員で20周年記念事業に取り組む。

(2)例会のあり方を考え直し、ビジターとの友好を深めることに努める。

(3)地域ヘロータリーをPRする。

(4)若い会員の増強に努める。

☆知多R.C.の近藤可知君は、発足間もないクラブだから会員増強に積極的につとめ今年度中に40名に到達する目標で頑張り、楽しく例会に出席出来るようなムードのよいクラブにし、クラブ出席100%を目指しますとの決意がのべられました。

☆東知多のR.C.の花井文雄君からは、次の主旨

の発言がありました。

- (1)クラブの活性の条件は熱心なリーダーの存在、適材適所の委員会への配属、年度方針をはっきりきめること、ロータリアンとしての意識の向上が大切。
- (2)クラブ奉仕とは気の合った者同志が集まり金、労力、能力を出し合って作り上げる共有財産で奉仕はサービスであるサービスについて今後一層考えてみたい。

☆半田南R.C.の杉山正彦君からは、次の様な考え方の発表がありました。

- (1)会員が自覚をもって積極的に行動する。
- (2)例会を楽しく、広く、友情を深めるため毎例会抽せんで席をきめる。
- (3)ニコボックスのユニークなものに賞をあたえる。
- (4)会員個々の奉仕活動についての小冊子を作る。
- (5)次年度の重点活動方針を早くきめそれに予算を多く配分する。
- (6)姉妹クラブとの交流を一層深める。

☆続いて質疑応答に移り、交換学生を受入れる場合のホストクラブの予算について、青少年奉仕委員会の活動を分区で協同で行う件について、ロータリーの理解を深めるための適切な指導書について、パスト会長にS.A.A.を担当して貰う件とシニア会員の更なる活動について、等の質問があり、それぞれアドバイザーから適切な指導と助言がありました。

☆高沢ガバナーより懇切なる講評を頂き、次期分区代理の石井直一君の紹介、次期ホストクラブの常滑ロータリークラブの紹介があり、午後3時40分閉会の点鐘でI.G.F.を終りました。

## 地区財団副委員長に服部英一君が委嘱されました

地区財団副委員長牧野達郎君のご逝去に伴ない、その後任として服部英一君(名古屋クラブ)が、委嘱されました。

## R.財団寄付10,000%(1987—1988年度) 達成クラブの表彰楯が到着しました

1987—1988年度のR.財団寄付10,000%達成クラブに対する表彰楯がガバナー事務所へR.I.の財團から送られてきました。

これまでに、世界中で1,072クラブがこの業績を達成しました。

表彰楯の授与は、地区大会において、行われる予定です。

尚、表彰されるクラブは、次の11クラブです。

半田ロータリークラブ  
犬山ロータリークラブ  
小牧ロータリークラブ  
江南ロータリークラブ  
名古屋和合ロータリークラブ  
名古屋西ロータリークラブ  
西尾ロータリークラブ  
岡崎東ロータリークラブ  
岡崎南ロータリークラブ  
尾張旭ロータリークラブ  
豊橋ロータリークラブ

## D.276ロータリアン 5,037名になりました(63.11.30現在)

当276地区の会員が63.11.30現在で、5,037名となり、今年度初めの人数が、63.7.1現在、4,862名でしたので、この5ヶ月間で、178名の純増となりました。

## 豊橋ゴールデンロータリークラブ、 R.I.加盟承認されました

去る10月28日、創立総会が開催された豊橋ゴールデンロータリークラブは、R.I.に加盟の承認を求めていましたが、この程、承認する旨の連絡が入りました。

日本では1,817番目のクラブとして、来る来年3月19日に認証状伝達式が行われる予定です。

# 公式訪問 だより



## 豊橋北R.C.

1988年10月18日(火)

会員数 117名

会長 石川顕次

幹事 早川憲幸

豊橋市内2番目のクラブ、創立32年目になる。創立以来、緑化運動及び都市美化運動がさかん。元会長野沢東三郎君の提唱した「530運動」はロータリークラブのみならず全日本の広がりをしている。若い会員の増強に力を入れ、平均年令も55.64才と若い。



## 小牧R.C.

1988年10月19日(水)

会員数 72名

会長 穂積鎧三

幹事 鶴飼昭彦

地域は立地条件にめぐまれ、ハイウェーのターミナルとして、交通の要衝として企業誘致が行われ、大きく発展している。クラブは創立20年になり、諸活動は活発である。ローターアクトの提唱、青少年交換、ポリオプラスキャンペーン活動等めざましい。



## 名古屋R.C.

1988年10月25日(火)

会員数 235名

会長 富田和夫

幹事 安藤重良

1924年創立の地区内最古参クラブであり、地区的中心クラブである。会員は東海地方を代表する人材によって構成される、歴史の重みと風格を感じるクラブである。地区内最長老97才の水野会員もお元気に例会に出席されている。



## 豊川R.C.

1988年10月26日(水)

会員数 82名

会長 中尾敬三

幹事 小野計平

愛知県の東部、近年内陸工業都市として発展している。又豊川稻荷は有名である。1985年、スポンサーとして豊川宝飯R.C.を結成し、インターラクトの提唱、海外クラブとの交流など、クラブ活動はさかんである。



## 名古屋西R.C.

1988年10月27日(木)

会員数 160名

会長 吉田国夫

幹事 村瀬雄一郎

名古屋市内2番目の古参クラブ、本年33年目になる。又会員数も160名に達した。クラブ内の親睦も良く、趣味の会は8つ、藤山一郎さん作詞作曲の「名古屋西ロータリークラブの歌」など楽しいプログラムが多い。



### 西春日井R.C.

1988年11月1日(火)

会員数 63名

会長 早川雅男

幹事 鈴木雅雄

名古屋に隣接した4ヶ町村をテリトリーとする、農工住のバランスのとれた地域である。クラブは創立23年になる。奉仕活動は盛んで、本年は清洲城再建の中心となって運動している。



### 名古屋和合R.C.

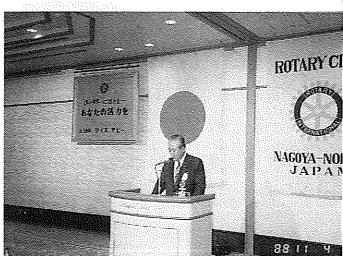
1988年11月2日(水)

会員数 102名

会長 国枝実雄

幹事 春日文明

名古屋市の東部と近郊の1市、2町をテリトリーとする。地域は人口26万人を数え、発展地区となる。近年会員増強はめざましく、本年度になって100名を越えた。出席率は長年にわたり100%をつづけ、クラブ独自の奉仕活動をもっている。蜂谷分区代理の所属クラブで、本年度I.G.F.のホスト。



### 名古屋北R.C.

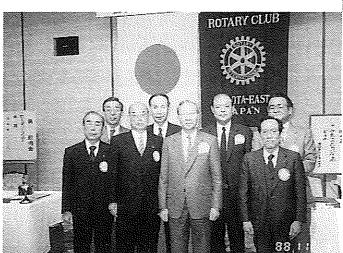
1988年11月4日(金)

会員数 102名

会長 谷田利景

幹事 木村茂

名古屋第2分区の中心クラブ、本年度30周年を迎える。平均年令も58.10才と若い。クラブ活動は充実しており、特にロータリー財団の寄付率は高い。W.C.S.活動、青少年交換、米山奨学会、等さかんである。



### 豊田東R.C.

1988年11月9日(水)

会員数 74名

会長 鈴木教信

幹事 林恒夫

豊田市の東部と山間部3町と2村をテリトリーとする。創立9年目になる山間地域で、出席の困難な会員が多くいるにも拘らず、出席率は良好。87-88年度99.1%。平均年令も52.5才と若い。本年は吉田分区代理を出し、I.G.F.のホストを努める。



### 豊山城北R.C.

1988年11月15日(火)

会員数 76名

会長 長江博

幹事 太田達夫

創立4年目の若いクラブ。クラブ活動は活発で、活力がある。会員数も順調に増加し、平均年令も49.42才と若い。新入会員の入会式が行われ、ガバナーよりバッジを贈呈。



### 江南R.C.

1988年11月17日(木)

会員数 76名

会長 大平正士

幹事 岩田洋二

県の北部に位置し、織物の町として知られている。前年度は協区協議会のホスト、本年度はR.A.C.部門別協議会のホスト、と2年連続地区の重要な行事を行っている。R.A.C.の提唱、青少年交換などクラブ活動は活発。

# クラブだより

## 江南ローターアクトクラブ 創立10周年記念式典

### 江南ローターアクトクラブ 会長 尾 関 渉

爽やかな秋晴れの下、10月10日に江南ローターアクトクラブの創立10周年記念式典を開催致しました。式典に際しまして、江南市市長、江南商工会議所会頭、第276・260両地区ガバナーを始め多数の方々に御臨席を賜り、盛大に執り行なうことができましたことは、江南ローターアクトクラブとして、この上ない喜びであり、皆様方の御支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

また、創立10周年記念式典と併わせて、10月9日に第12回部門別協議会をホストさせて戴き、会員一同、心より感謝致しております。

そして、この2大行事が当クラブに、4つのテストならぬ、4つの大きな収穫をもたらしてくれました。まず第一に、今期13名でスタートした会員数が28名にまで増え、クラブ内がより活気づいたこと。第二に、行事開催という1つの目標に向けての連日連夜の準備活動により、クラブ内の团结力が一層強化されたこと。第三に、行事開催にあたり、提唱、江南ロータリークラブの皆様方との会合も数多く催され、親クラブとの交流が図れたこと。最後に、関係各位の皆様方の御支援により、記念講演に、1,000名近い市民の御出席を得られ、地域に密着した奉仕活動が行なえたこと。

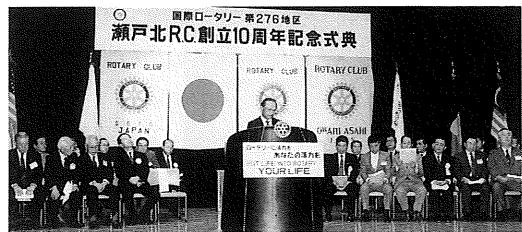
今後、この貴重な体験を生かし、一層充実した活動を行なっていく所存でございますので、相変わらぬ御厚情を賜ります様、御願い申し上げます。



記念式典で挨拶する高沢ガバナー

## 瀬戸北ロータリークラブ 創立10周年記念式典を終えて

### 瀬戸北ロータリークラブ 会長 江 尻 守 鉄



瀬戸北R.C.創立10周年記念式典

創立10周年記念式典は10月27日、名古屋サンプラザ・ブリックホールで午後5時から親クラブの瀬戸ロータリークラブ、先輩クラブの尾張旭ロータリークラブと共に移動例会を行い、次いで5時20分から記念式典と記念講演、そして7時から8時半まで懇親会の順序で開催されました。

瀬戸北クラブ10年の歩みをスライドで紹介し、つづいて記念事業として瀬戸市に時計塔1基、瀬戸警察署に広報車1台、瀬戸市立図書館に点字図書、瀬戸スカウト協議会にキャンプ用品、そしてロータリー財團への寄付が発表されて、それぞれの関係者に目録が贈呈され、引き続いでの俳優佐野浅夫氏による鬼に題材をとった物語を中心とした講演「思いやりの心」が行われました。懇親会は時節柄控えめなものであったが、かえって出席者の心を深く結びつける機会となり、温かい感慨を抱きながら帰路につくことが出来ました。

## 朝食例会報告

### 名古屋港ロータリークラブ 会長 綱 島 彰

去る10月14日(金)午前7時30分より港ロータリークラブ第2回朝食例会を開催しました。

前回(7月29日)より開会時間を30分繰り上げ、会社の始業時間に間に合うよう配慮したところ80名のご出席をいただきました。講師には

世界デザイン博覧会協会事務局長由井求氏をお招きし「世界デザイン博覧会について」のお話をお願いしました。

大変好評でしたので次回開催も検討する予定です。



朝食例会会場

## 昭和橋作業所運動会に参加して

### 名古屋港ロータリークラブ 会長 綱島 邦

○と き：10月16日(日)

午前9時30分～午後3時30分

○ところ：昭和橋公園

名古屋港ロータリークラブでは、毎年、名古屋港ローターアクトクラブ会員と共に名古屋市立授産施設昭和橋作業所授産生との運動会を開催しています。当日はロータリークラブ会員とローターアクトクラブ会員の30余名が参加し、着せかえ競争、パン食い競争、貯金競争、つなひき等に授産生と共に童心にかえり楽しい一日を過ごしました。



童心にかえってのパン食い競争

## 盲導犬キャンペーンカーを贈呈

### 名古屋大須ロータリークラブ 会長 伊藤 清次 広報委員長 島澤 康宏

名古屋大須ロータリークラブは、これまで社会奉仕事業として会員らが、盲導犬の屋外キャ

ンペーンや市内の小学校で盲導犬の体験歩行などを実施していましたが、5周年記念行事実行委員会(松岡浩一委員長)で「盲導犬協会に記念として残るものを贈ろう」と数年前から基金をため、今回キャンペーンカーを贈ることになりました。

贈呈式は11月27日、名古屋市中区・大須観音で行われ、「サーブ」の法要のあと、同ロータリークラブの会員でもある岡部快圓住職がキャンペーンカーの安全祈願をしたあと、伊藤会長からキーが石井会長に贈呈されました。

このあと、同協会員がキャンペーンカーを運転、中区栄の「希望の泉」前で、盲導犬5頭らとともにステージで第1回の展示教室を開きました。



盲導犬キャンペーンカーの贈呈式

## 少年団育成功労者を表彰!!

### 豊山城北ロータリークラブ 会長 長江 博

当クラブでは、去る11月13日開いた例会の席上、20年近くにわたって西春日井郡豊山町のスポーツ少年団の世話役として貢献している同町四ツ塚、茶せん製造業石黒俊彦さん(52)に感謝状を贈りました。

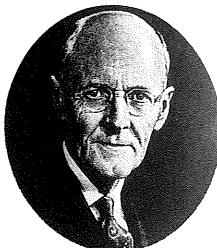
石黒さんは、結婚を機に豊山町に住み始めた昭和39年ごろから、近所の子供たちに得意の空手を教え始め、47年には町スポーツ少年団の結成に尽力し、以来会長として、豊山町の子供たちにスポーツのみならず、奉仕の心や礼儀を教え続け、地元の人の信頼も厚く、現在同町スポーツ少年団は、空手をはじめバレーボール、野球など6競技に約520人が所属しています。

感謝状を受けた石黒さんは「今後も明るく元気な豊山町の子供たちのために頑張ります」と喜んでいました。

## 電話番号変更のお知らせ

瀬戸北ロータリークラブ

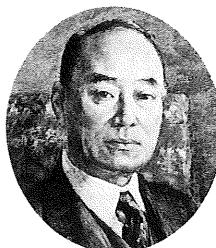
TEL 84-1170 FAX 84-0116



## 新ポールハリス・フェロー

10月分

(10月末現在、ガバナー事務所判明分)



## 新米山功労者

10月分

(10月末現在、ガバナー事務所判明分)

氏名	所属R.C.	氏名	所属R.C.
杉浦玄市(碧南)	三木庸行(名古屋港)		
阿部鋼一(名古屋)	近藤幸一(名古屋)		
森真佐雄(名古屋瑞穂)	平林美秋(名古屋港)		
則武重雄(名古屋港)	住田守(名古屋港)		
渡辺重夫(名古屋港)	丸尾武(蒲郡)		

氏名	所属R.C.	氏名	所属R.C.
鳴津邦也(刈谷)	田中清(小牧)		
水野喬樹(名古屋)	新美敢(名古屋千種)		
鎌倉武男(名古屋空港)	春日良平(名古屋瑞穂)		
鶴見聰平(名古屋中)	生田幾也(名古屋西)		
二村忠男(名古屋西)	山内鉱平(瀬戸)		
服部義則(東海)	熊田嘉門(豊橋北)		
神谷邦雄(豊橋北)	浅井賢次(津島)		

## 新米山功労法人

蒲郡信用金庫本部(蒲郡)  
(株)吉田金属製作所(名古屋瑞穂)

## 新米山特別功労法人

(株)大島鉄工所(尾張旭)

## 半田郷土玩具

### 乙川土人形

豊橋R.C.会員  
成田 嘉則  
(成田記念病院理事長)

三河地方に土雛が飾られるようになったのは江戸文化華やかな文化、文政の頃と思われる。

乙川土人形・初代杉浦伊左衛門は飛脚を生業として京都に出入りするうち、伏見人形に目を付け、伏見の土雛を求めて三河にはこんでいたが、雛飾りの風習が盛んになるにつれ鈴鹿越えの遠い旅路では多くは運びきれず、息子の佐与八に土人形を作らせることを思い、たち佐与八を京都伏見に修業に出し、伊左衛門の運んだ原型をもとに乙川土人形を創始した。

乙川土人形は尾張、美濃、三河土人形の始祖であって、四代佐市郎の頃まで大量に作られ、その作品は半田町(現在は半田市)有脇部落の農民達が現金収入の方法として愛知、岐阜、静岡の西部の山間地帯へ売り捌きに出かけ、山梨県甲府地方に雛人形の問屋があり相当量、毎年送っていたと記録が残っている。

現在、五代目杉浦定吉氏が乙川町稗田で、招き猫、福助、ダルマ、十二支貯金玉、船等を作っているが、往年の作品にはとても及ばず、東海地方として一番歴史の古い乙川土人形だけに時の流れとは云うものの誠に残念に思っている。



# 第276地区 出席報告

1988年11月分

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数			分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				63年 7月1日	当月	増減					63年 7月1日	当月	増減
尾張第一分区	知多	100.00	4	34	37	+3	西尾張分区	あま	99.72	4	87	89	+2
	半田	93.94	3	70	71	+1		尾西	93.50	4	57	56	-1
	半田南	98.08	5	52	53	+1		一宮	98.60	4	95	97	+2
	東知多	100.00	4	48	49	+1		一宮北	99.41	4	87	86	-1
	常滑	96.86	4	59	58	-1		稻沢	98.69	4	58	60	+2
	東海	99.24	4	57	60	+3		西春日井	98.03	5	61	63	+2
	計	98.02		320	328	+8		尾張中央	100.00	4	44	44	0
名古屋第一分区	名古屋	95.64	5	221	238	+17		津島	99.32	4	88	89	+1
	名古屋南	100.00	4	125	131	+6		計	98.41		577	584	+7
	名古屋港	100.00	4	111	116	+5	三河第一分区	渥美	93.61	4	61	64	+3
	名古屋瑞穂	100.00	3	79	81	+2		蒲郡	98.55	4	79	79	0
	名古屋中	99.81	4	131	136	+5		奥三河	94.27	4	50	50	0
	名古屋西	96.98	3	153	161	+8		新城	93.98	4	52	54	+2
	名古屋大須	99.61	3	79	86	+7		田原	99.36	4	82	81	-1
	名古屋東南	100.00	3	86	90	+4		豊橋	99.69	3	126	120	-6
	計	99.01		985	1,039	+54		豊橋北	99.08	5	117	117	0
	名古屋千種	99.30	5	54	58	+4		豊橋南	99.66	4	80	82	+2
名古屋第二分区	名古屋東	99.53	4	110	109	-1		豊川	95.65	4	80	82	+2
	名古屋北	99.75	4	100	102	+2		豊川宝飯	94.43	5	50	52	+2
	名古屋名北	100.00	4	59	64	+5		豊橋ゴールデン	100.00	4	—	45	+45
	名古屋名東	100.00	5	71	73	+2		計	97.12		777	826	+49
	名古屋守山	99.11	4	89	88	-1	三河第二分区	安城	100.00	4	79	83	+4
	名古屋和合	100.00	4	98	102	+4		碧南	100.00	4	77	79	+2
	計	99.67		581	596	+15		一色	100.00	3	54	54	0
東尾張分区	犬山	100.00	5	79	81	+2		刈谷	100.00	4	89	99	+10
	岩倉	99.47	5	38	39	+1		西尾	97.11	5	84	85	+1
	春日井	100.00	4	86	86	0		岡崎	100.00	4	95	101	+6
	小牧	99.64	4	71	70	-1		岡崎東	100.00	3	73	75	+2
	江南	98.58	3	72	74	+2		岡崎南	99.70	4	85	86	+1
	名古屋空港	100.00	4	63	68	+5		高浜	100.00	5	48	50	+2
	尾張旭	99.07	4	53	54	+1		豊田	99.43	3	93	94	+1
	瀬戸戸	99.37	4	78	79	+1		豊田東	100.00	4	73	74	+1
	瀬戸北	98.60	5	58	57	-1		豊田西	96.85	4	100	100	0
	豊山城北	98.59	5	74	76	+2		計	99.42		950	980	+30
	計	99.33		672	684	+12							
地区内クラブ数 62 R.C.				63.7.1会員数 4,862名			増加会員数 189名						
				当月末会員数 5,037名			減少会員数 14名						
				当月平均出席率 98.71%			差引純増会員数 175名						

## 1月の地区及び地区内の主な行事予定

- 1月10日(火) 財団奨学生オリエンテーション(名古屋)
- 1月21日(土) 第4回地区諮問委員会(名古屋)
- 1月25日(水) 青少年奉仕、IA、RA合同委員長会議(名古屋)
- 1月29日(日) 三河第一分区I.G.F.

## ガバナー事務所 年末年始休日のお知らせ

12月29日(木)～1月5日(木)

## 1月のガバナー公式訪問日程

- 27日(金) 豊橋ゴールデン

(本年度の新設クラブとして、公式訪問が行われます。)

### 計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

- 11月2日 安井栄一君(名古屋中R.C.)
- 11月25日 渡辺和美君(東京西R.C.)  
(日本ボリオプラス委員会委員長)
- 12月3日 木村周一君(一宮R.C.)
- 12月10日 今井富夫君(名古屋南R.C.)
- 12月13日 杉浦和夫君(豊橋R.C.)

## 健 康 に 一 言

### トイレの中の心配り

敗戦後、名古屋の住いのそばの広壯な邸宅がアメリカの進駐軍の将校に攝取されていた頃の話だが、誰が見て来るのかその住まいの様子がいちいちめずらしい話として近所の格好な噂話になっていた。その話の中に「アメリカ人はトイレの中に電熱を持ち込んで暖めているそうな」と云うのがあった。その頃はまだ子供だったので、アメリカ人は寒がりだなあと思った位であったが、医者になってこれが極めて合理的な暮し振りであることが分った。

以前に比べて現在の日本でもトイレに関する考え方方がだいぶ変って来ており、小ぎれいに、そして冬は暖かくしようとする傾向がみられる。暖かい部屋やフトンの中から抜け出して、寒いトイレの冷たい便座に腰かけると血圧も脈拍もともに増加する。脈拍は1分間20以上、血圧は20mm(Hg)以上増加する人は

ザラにみられる。また排便中はいろいろな不整脈が出現しやすくなる。

このように排便中は誰でも血圧や脈拍が増え、ときには不整脈も出現するものだが、冬の寒いトイレの中で強く力んだりすると、これらのことことが一層増強する。冬トイレの中で狭心症の発作をおこしたり、脳卒中で倒れたりすることが少くないのはこのためである。

何はともあれ寒い間はトイレの中を暖かくし、強く力まないで排便できるように調整する必要がある。トイレは密室でもあるので、外との連絡もとりにくい場所でもあるので、お年寄りのおられる家ではトイレに呼び鈴などもつける位の心配りがほしいものだ。

森 澄地区副幹事  
(森外科院長)